

第3回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会事業部会会議録

○ 日時 平成31年3月26日（火）午後3時～午後5時

○ 場所 遠軽町役場 3階 第3会議室

○ 出席者 別紙のとおり

○ 会議内容

1 開会

2 議題

進行：事務局 今井参事

（1）利用予定団体によるワークショップの開催について

説明：地域拠点施設準備室 今井参事

説明要旨

（事務局）

- ・ ワークショップの開催目的は、新たな遠軽町のシンボルとなる「遠軽町芸術文化交流プラザ」の建設に伴い、大ホールやリハーサル室、小ホールや和室などの各団体が活動を行うこととなる部屋で使用する設備・備品をより機能的なものとするための検討を行うとともに、施設に愛着を持って末永く使用していくための方策を検討するため、利用を予定している団体の皆さんを集めたワークショップを開催するもの。

ワークショップの開催により、関係団体間における連携を深めるとともに、開館に向けた意識の高揚を図るものであり、今後、施設の運営協議会的な組織に発展していくことを期待するもの。

- ・ 参集予定団体は、資料1・2を参照
- ・ 資料1は、遠軽町芸術文化交流プラザ利用想定団体であり、平成29年5月にアンケート調査を行っており、その問7で、この施設を利用する若しくはわからないという回答をいただいた団体のほか、遠軽高校吹奏楽局やがんぼう太鼓同好会などの日常的に利用することとなる団体の一覧表です。
- ・ アンケートで、この施設を利用しないという回答の団体やアンケートに回答をいただかなかった団体については、この一覧には入れていません。
- ・ 芸文プラザ利用想定の一覧は、各団体のこれまでの主な活動場所やその広さなどから、芸文プラザの中での活動に適した部屋を想定し、記載したものであり、各団体の意向を確認したものではないということを御理解いただきたい。
- ・ 資料には、広報等で配布をしている「えんがるマナビィ情報」を添付しており、芸文プラザの利用想定団体については、黄色のマーカーで表示している。
- ・ 資料2は、施設の配置図・平面図であり、1枚目は駐車場を使用したイベント広場として、夏まつりや秋まつりなどでの利用を想定。
- ・ 2枚目は、1階部分の各部屋の利用想定としている。左上から順に、スタジオは、遠軽がんぼう太鼓同好会。

調理研修室は、遠軽町消費者協会と遠軽手打ち蕎麦同好会。

リハーサル室は、リズムダンスレディース、リズムダンス満愛、遠軽グリーンフォーク

ダンスサークル、遠軽ジャズダンスサークル、ダンス教室 a m i : φ。

小ホールは、遠軽町書道連盟、遠軽町茶道連盟、川柳研究会、聖月流日本吟剣詩舞道会 遠軽支部、遠軽グリーンフォークダンスサークル、丸瀬布歌謡愛好会。書道連盟や茶道連盟については、遠軽町総合文化祭や成人式での利用を想定して記載している。

ホワイエ1については、生田原生花サークルが展示を行う場所として、壁面の家具を想定している。

ホワイエ2は、書道連盟や絵手紙同好会、遠軽写真同好会が展示を行うスペース。

大ホールは、発表会や演奏会等で使用する団体として、遠軽混声合唱団、遠軽ジャズダンスサークル、フラスタジオ・UEDA、ダンス教室 a m i : φ、遠軽がんばろう太鼓同好会、遠軽青少年吹奏楽団、遠軽高校吹奏楽局となる。

楽屋1は、向日葵短歌会、楽屋2は遠軽刺しゅう教室や遠軽町書道連盟。

- 3枚目は、2階の利用想定であり、多目的室1（音楽系）は、遠軽混声合唱団、琴城流大正琴遠軽響の会、遠軽三曲協会、静雲国暁流詩吟々舞総本部、聖月流日本吟剣詩舞道会 遠軽支部、民謡好会、遠軽三絃会。

多目的室2の製作系は、趣味の部屋と遠軽町社会福祉協議会の陶芸教室。

和室1は、せせらぎヨーガ、遠軽町茶道連盟。

和室2は、遠軽町茶道連盟、遠軽華道連盟、表千家千葉社中

和室3は、遠軽町茶道連盟、畑山手描型染友禅同好会、畑山きもの着付教室、華の会、若柳臣流遠軽若寿会、丸瀬布藤の会としている。

- 多目的室3から7については、会議や講習などで一般に貸し付けする部屋となり、各団体が通常活動を行う部屋としては想定していませんが、各団体間の利用調整のなかで、場合によってはこれらの部屋も使用するということもありえる。
- 参集予定団体としては、41団体とした。
- 開催時期は、今年の6月頃の午後6時から8時まで。
- ワークショップの流れは、施設説明、建設スケジュール、検討協議会による検討経過、図面、建設事業費の説明
- ワークショップの説明は、趣旨説明、検討事項の確認、グループ分け、ファシリテーターの紹介とし、ファシリテーターは、各グループの進行役という立場で事業部会の委員の皆様をお願いしたい。
- ラウンド開始後は、ファシリテーターの進行により、リラックスできる場や各メンバーの発言機会を増やしたり、また、意見を否定しないということが重要になる。
- 各グループで検討する案として、①各団体が通常活動を行う曜日、時間帯、人数。②各団体が大会等を行う場合の時期、時間帯、人数、使用する諸室。③各団体が通常活動や大会等を行うために必要な備品設備はなにか具体的に。④ホワイエやトイレなどの共有スペースの機能として、気になる点はないか。⑤その他利用に当たっての留意事項。
これ以外にも検討する事項がないか、委員の皆様の御意見を伺いたい。
- ラウンドは約60分、最後のまとめでは、各グループでの検討内容を発表、全体でその情報を共有し、その場で整理できるもの、引続き検討を要するものを抽出したい。最後に、アドバイザーからの講評をいただきたい。
- ワークショップでのグループ分けの案として、考え方は、
・ 同じ部屋を利用する団体でグループを構成。
・ 室利用団体が少数の場合は、同階の隣接した室と同グループ。
・ 一団体が

複数の室を利用することが見込まれる場合は、主に利用が想定される室。・利用の想定が難しい団体は、同様の活動を行う団体と同グループ。

- ・ グループ A からグループ F までの 6 グループとしているが、欠席団体もあると考えられるので、おそらく 5 グループくらいでのワークショップになる。
- ・ 最後に用意するものとして、記載のとおりである。それぞれの意見については、付箋用紙に各々記載し、それを模造紙に貼り付けていくという流れで考えている。
- ・ ワークショップの開催について、皆様から御意見をいただきたいと思います。

【意見】

発言者	内容
大西部会長	ワークショップへの参集団体として、この一覧にある団体でよろしいでしょうか。ほかにも声かけする団体はありませんか。
大西部会長	社会教育団体に届出していないような団体はありませんか。
事務局	例えば、バレエスタジオのように、マナビィ情報に載せていない団体がいくつかあります。
竹之内委員	ライブリーキッズも総合体育館の 2 階を使い、週 2 日練習しています。イベント時などでダンス活動を行っています。
伊藤委員	カラオケの関係については、自治会や老人クラブなどグループがたくさんあるが、それらをまとめた連合会はない。それらはどうするか。
大西部会長	練習の場として使用することはないと思うが、発表の場としては考えられる。
事務局	高齢者センターで老人クラブがカラオケの活動をしており、その活動の場として、多目的室やスタジオの使用を想定しています。各団体が所有している設備については、一度整理しなければなりません。それも含めたワークショップを進めていく必要があります。練習用のピアノなど。
竹之内委員	カラオケに関しては、社会福祉協議会が入ることで束ねしてくれると思います。
アドバイザー	砂川でもホールでカラオケをやるときがありますが、カラオケ機材をホールに持ってくるとものすごくお金が掛かります。仲間だけでやるのなら良いですが、著作権の問題で大ホールなどでやる場合には高額になります。 ホールでやる場合は、各自が CD を持参し、担当者に渡し、ミキサー室で順番通りかけて、舞台にはモニターの画面と跳ね返りのスピーカーを置くこととなります。よくチャリティカラオケ大会ということで開催しています。個人や仲間内でやる分には全然構いません。
事務局	追加する団体としては、ライブリーキッズを追加し、m i z u e バレエスタジオも発表会で使用する場合もあるので追加したいと思います。
アドバイザー	クラシックバレエの方も施設が完成したら、ここでやりたいと思います。
大西部会長	ワークショップで検討していただく事項として 5 項目ありますが、このほかにも意見がありましたらお願いいたします。 設計に関わるものについてはできませんが、備品や設備についての意見に

	なります。
事務局	各団体に応じ、色々あると思われます。
アドバイザー	これは、説明してもなかなかわかりにくく、完成後、2～3ヶ月はテストすることになりますが、そのときにプレ事業として無料で各団体に見てもらおうと足りないものなどがわかります。プレ事業として、町民に関わってもらおう仕組みが重要になります。使う側も管理する側も力になり、色々チェックすることができる。 オープン前の1～2ヶ月をプレ事業として実施してみてもどうか。
高桑委員	ピアノは、2台置くことになると思いますが、1台は大ホールで使用し、もう1台は小ホールやホワイエ等に置いておいて、誰でも自由に使えるようにするという方法もあります。アップライトピアノの自動演奏機能付きのピアノを置いておいて、時間で音楽を流すという方法もあります。
伊藤委員	旧遠軽小学校の校舎にグランドピアノとアップライトピアノが1台ずつある。それらもどうするかということもある。また、オープンに向けて、ピアノの寄贈という話もでてくると思います。 団体のものを持ち込んで施設に備えるということになるとどうでしょうか。例えばカラオケの設備など、施設がなくなった場合に設備をどうするかということになり、片方を認めて片方を認めないということにはならないので、いっそどこの団体の物でも持ち込みはダメですよということにしたほうがよいのでは。
事務局	太鼓や大型の打楽器については、通常持ち運びが厳しいため、収納できる形を考えています。いちいちトラックで運ぶということがないように楽器を備え付けることを考えています。
大西部会長	青少年吹奏楽団については、練習をどこで行うのでしょうか。
事務局	このホールで練習したいとのことですが、現在は人材開発センターを使用しており、料金や楽器の保管の問題もあるため調整を要します。
大西部会長	グループ分けについてはこれでよろしいでしょうか。
事務局	このグループ分けで、ライブリーキッズとm i z u eバレエスタジオがグループBに入り、発表会などで大ホールを使うグループになると思います。
アドバイザー	グループ分けは良いと思いますが、何かに関わっていないとワークショップに参加できないということになり、例えば一般町民の方たちが新たにこういうサークルを作ってやりたいんだ、ということがなければ作る意味がない。一般町民の方で別にグループを作ってワークショップに参加できるようなテーブルも必要ではないか。
事務局	別な日程で検討します。違った形でのワークショップも検討します。
高桑委員	ホールの使用について、使用時間で厳しくすると懸念されてしまう。
伊藤委員	施設の公共性ということを考えると、時間は明確な規定を作らなければならない。毎年のように赤字になることでよいのか、営業等も行わなければならないが、条例があるためでたらめなこともできない。半分は公共的な考え方、半分は商業的な考え方というのも必要ではないか。

高桑委員	大空町の文化ホールに携わっている人の話を聞くと、完全に行政と離れた形で運営しています。大きな事業は年に何回かしかできないが、赤字にならないようにやっていると言っていました。
竹之内委員	コンサートなど大々的な行事をやる際には、聞く側の人のため、運営してもらおう興行者のため、サービスの提供という部分で突発的にでてくるかもしれません。今、言われているのは、恒常的な練習の場の貸館営業の部分を分離していきたいということだと思いますが、それは利用する側のきちんと決まった時間でのルールを作ることで、例えば 10 時まで使ったら 10 時 15 分までには片付けて退去しましょうということになると思います。
大西部会長	今は、労働に対するものの考え方がシビアになってきていますので、きちっとした形は崩さないでやっておいたほうが良いと思います。利用する側も管理する側もそのほうが良い。
本田委員	紋別もきちんとしています。例えば、6 時からの使用でも 5 時 30 分から暖房をつけて使用が可能な状態にしてくれています。使う側としては、たいへんありがたいなと思います。
アドバイザー	<p>こういった公共施設や劇場を建てて、それで利益を上げようなんてことは、日本中どこの自治体を探してもありません。こういった施設を建てるのは、まちの活性化ですとか、施設ができたことで人々が動いたり、観光客が入ってきたり、潤いが生まれます。劇場で利益を上げることは、先ずできないと思いますし、行政は考えていないと思います。</p> <p>砂川のゆうでも、年間の売上は 1 千万円にも満たないけれども、施設にはとてもお金をかけています。ただし、時間の規制を厳しくすると皆さんに使ってもらえなくなり、何のために建てたのかということになります。</p> <p>臨機応変な対応が必要であり、常に町民の方に使っていただくことが一番です。</p>

(2) 開館に向けた事業企画立案について

説明：地域拠点施設準備室 今井参事

説明要旨
<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 2 回会議で①～⑤の各事業について検討していただいたが、内容について、検討・課題を整理していただくもの。 ①プレ事業のNHKのど自慢については、前回平成 27 年には総合体育館を利用している。プレ事業として、ホール完成前に行うのであれば、会場設営に係る予算の計上を要する。また、平成 32 年度中に開催するためには、本年中に申請しなければならない。プレ事業として開催するのが好ましいか。開館後において、開館記念事業として開催するのだろうか。 ラジオ等マスメディアについては、コスモスフェスタ公開録音時でのPRや、観光PRのためのテレビ番組やラジオでのPRのほか、札幌地下歩行空間でのPRなどが考えられます。 パンフレット作成については、プレ事業としては重要なものであり、平成 31 年度中に

素案をまとめ、平成32年度中に印刷・配布を検討したい。

- こけら落としの町民参加演劇の練習については、こけら落としに間に合うように進めるには、平成31年度中に実行委員会などの組織の立ち上げや指導者の確保、参加者の募集などをどのように行うかが問題となる。
- 事前の無料開放を行い、施設にどのような不具合があるかということを試すような事業を行うこともおもしろいと思います。建物の完成は平成33年の2～3月に完成しますので、それから備品を搬入して、同年7月ごろに開館させることとなりますので、5月か6月頃に実施することはできるのかなと思います。
- ほかの町では音楽測定会を行っているところもあります。ピアノや吹奏楽などの演奏会を行い、残響時間を測定するというところもあります。施設の完成後で開館前にそのようなことを実施する方法もあります。5月～6月頃に行うということも可能です。
- ブレ事業については以上です。

【意見】

発言者	内容
大西部会長	ブレ事業でのど自慢をやるかどうかということになりますが、前回ののど自慢はどうだったのかというのがあり、合併という名を謳いながら町の人たちが出ていないというのがあり、NHKサイドにその辺が伝わっていたのかどうか。予選には出ていたが、本選では遠軽町が合併したことの感想などのやり取りも全くなくなってしまった。
各委員	開館事業として、新しいステージを使ってやったほうがよいのでは。
アドバイザー	NHKのど自慢でなくても、ふるさと自慢のど自慢は600人でも開催できます。
高桑委員	全国放送ではなくても、北海道内で流れる媒体としてラジオを利用するというところもあります。
本田委員	ブレ事業として、のど自慢にそんなにお金をかけるのはどうでしょうか。
竹之内委員	ブレ事業として行うのであれば、壊すことになる福祉センターで何かやれたら良いと思います。「さよなら福祉センター」イベントの開催。例えば福祉センターの最後1ヶ月を無料開放してみんなで使ってもらおうということもあると思います。
アドバイザー	そういうのはとてもよいと思います。それを新しい施設に繋げていくということは良い方法です。
竹之内委員	こけら落としの練習は福祉センターで行い、新しいところで披露するというのがよいと思います。
大西部会長	今までの施設に対する御礼という形をPRに使うということ。
各委員	コスモスウェディングをやっていたが、無料で結婚披露宴を行うというのもよいかもしれない。映像としても残しておくもよい。
竹之内委員	いずれにしても、供用開始したら、福祉センターは使わないということではよいのですか。
事務局	そうです。福祉センターのほかにも、高齢者センターや青少年会館も同様です。

大西部会長	のど自慢はやめて、福祉センターを活用したPRをやるということでよいですね。
竹之内委員	開館記念の中では、NHKの事業を一本ほしいところです。
事務局	福祉センターを活用したイベントと、無料解放の期間を設けること、音楽測定会を実施するということがよろしいでしょうか。
アドバイザー	音楽測定会については、どのようなものになるか。
事務局	測定に係る費用は設計に入っており、プロの奏者などを呼んで実際に測定するものです。遠軽高校の吹奏楽局に演奏してもらおうということも。
アドバイザー	吹奏楽は測定ということにはならない。ピアノか弦楽になると思います。
大西部会長	遠軽町にホールができるということはいろんな形で伝わっていますので、例えば、弦楽4重奏をやったり、札幌などからきてもらうということも考えられる。
アドバイザー	公立文化施設財団に派遣事業というのがあり、4重奏などの費用をみてもらうということも可能。ピアノが入るのもよい。
高桑委員	ピアノの選定はいつごろですか。
事務局	今年中に決めたいと思います。これから議会にも協議しなければなりません。また、寄附の話もあります。
伊藤委員	ミュージカルに関しては、町として何か方策はありますか。
事務局	今のところ全くない状況です。
大西部会長	遠軽には演劇の風土がありません。隣町の佐呂間や紋別などは、演劇やミュージカルなどをやっていますが、遠軽は箱がないせいもあり、そういったことをやりたいと思う人がいるかどうかもわからない、というのが私の感想です。
アドバイザー	そういう人は必ずいます。
伊藤委員	社名淵小学校が廃校になる前に、小学校でオペレッタをやっています。そのときの指導者は学校の先生だった。
アドバイザー	新たな創造として考えたほうがよい。今までこうだったということは考えないほうがよい。こんなに素敵な劇場ができるので、考えを前に進めたほうがよい。
本田委員	ミュージカルの音楽を聴いて、その場面のシーンを創造して振りつけるということであれば私はできると思います。台本や流れなどは別です。
アドバイザー	今までなくても、新しく演劇ができることで、高校や中学にも演劇部ができてきます。
事務局	町内の子どもたちに演劇やミュージカルを見せる機会を与えるということで、劇団四季の「こころの劇場」というのがあり、資料を配布しています。この公演は、劇団四季のなかでも低価格で開催できると思います。
アドバイザー	この公演は無料で学校の児童に見せることができ、とても大きな刺激になります。
大西部会長	開館記念事業として、劇団四季を入れるということになると、こけら落としにやろうとすると期間的にどうかということになります。開館記念事業に

	向けて、子どもの演劇やミュージカルはこけら落としではなく、その年にやるというほうがよいのではないのでしょうか。
アドバイザー	劇団四季のスケジュールがあるので、開催が可能な日に施設を開放してお願いしますということになります。オープニングの期間ではなくても、オープニング事業という冠をつけて開催できます。
大西部会長	ブレ事業に町民参加の演劇やミュージカルの練習を入れておくのはよいのでしょうか。
本田委員	誰が指導するかということになると思います。
大西部会長	指導者がいるかどうか。太田先生に聞きたいのですが、過去に行った際にその町で指導者を公募か何かで求めたことはありますか。
アドバイザー	最初は結局、私が行って指導しています。そして、一回終わって、やめるかどうか聞いても、またやりたいという意見が多い。 そのときに、本を書いたり、演出をあなたならできるからというようにして引き込んで続けていくという手法です。
大西部会長	演劇に関しては、太田先生がいなければスタートできません。
高桑委員	太田先生にやってもらうしかないのでは。
アドバイザー	私でよければ、やることは構いません。子どもたちの遊び場ができることで、どんどん新しいものが生まれます。遠軽にも新しい子どもの文化が生まれます。
大西部会長	ブレ事業については、のど自慢をやめて、福祉センターを活用したPR事業を企画するということと、町民ミュージカルについては、こけら落としで行うのは難しく、劇団四季のミュージカルを子どもたちに見せるのは、オープニングイヤーになるので、そのあとに子どもたちの演劇・ミュージカルをやるということによろしいのでしょうか。
アドバイザー	こけら落としは、例えば1日目に三番叟の祝い舞を行い、その後演台を並べて、来賓席を並べて式典のセットをして式典を開始するという流れになります。式典後に反響板を下ろして、吹奏楽の演奏会などまち自慢のものを発表して、一日目が終わる。そして二日目には、子どもたちのミュージカルをやるというのが流れかと思います。
大西部会長	必ずしも、子ども達がミュージカルの体験をしてからではなくて、その前にミュージカルをやるということですね。
アドバイザー	劇団四季に負けないような、子どもミュージカルを作れます。
アドバイザー	三番叟をどのようにするか。まちの日本舞踊の先生がいくつかある三番叟の祝い舞を踊るのか、それとも人形浄瑠璃の三番叟があり、文楽の三番叟をやってもらい、なかなか遠軽には人形浄瑠璃は目にするのではないかと思いますので、そういった方法もあります。 札幌に人形浄瑠璃をやっている方がいます。頼めば高くなく来てくれます。4・5人で来るため、宿泊代などを負担しなければなりません。 ※札幌の人形浄瑠璃芝居あしり座
大西部会長	普段、体験したことのないようなものを見るほうが新鮮でよい。

竹之内委員	三番叟、陸上自衛隊中央音楽隊、地元のミュージカルと繋げればよいと思います。
大西部会長	三番叟については、今のご提案があったとおりとし、無料開放については、4月～6月にジャンルごとに決めるということと、残響測定のためのコンサートは5～6月頃にやることとし、実際に演奏していただく方については、弦楽四重奏やピアノなど色々な情報があれば決めていきたい。
アドバイザー	札幌のファーストバイオリンの大平さんや、札幌に北海道音楽協会があり、非常に安くやってくれます。

説明要旨	
(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落成式典事業については、施設の竣工を祝い、町民の方などを招待し、開催するものです。愛称とロゴマークの採用者を招待し、賞状の授与式を行いたい。愛称とロゴマークに付いては、優秀賞として3万円の賞金とし、それ以外には参加賞として町の特産品をお渡しすることとし、それとは別に記念式典に招待するものです。 ・ 三番叟については、実施する方向で調整してまいります。 ・ こけら落としについては、陸上自衛隊中央音楽隊については、落成式典時期に道内のツアーなどとのタイミングがあえば、旅費等の負担が少なく済みます。そうではなく、独自に町と呼ぶ場合には、隊員さんの旅費等の負担が大きくなります。 町民ミュージカル・オペレッタについては、子どもたちを対象にして練習を重ねて、こけら落としのなかで披露するという一方で、こけら落としと落成式典を一日で終わらせることは無理だと思いますので、二日間で考えていくこととしたい。 ・ 開館記念事業について、劇団四季は先ほど申し上げたとおりであり、ほかには、各ジャンルのコンサートとして、地元関係者によるコンサート、ジャズピアノによるコンサートを開催したいと考えています。 また、地元吹奏楽に関しては、とても重要であり、2020年に全日制80周年、定時制70周年を迎えるということで、その翌年になりますが、遠軽高校吹奏楽局による記念公演などを企画してはどうかというものです。町内小中学校の吹奏楽も非常に盛んですので、合同コンサートについても、開館記念事業の一番初めに行うのがよいと考えます。 さらに、札幌交響楽団や国立音楽大学による演奏会の企画や大学吹奏楽の合宿誘致ということも開館記念事業というよりも通年で呼び込むことで、町としても利益となります。 映画上映会については、制作会社を活用したなかで進めていくということで、最近では上映会プラス親子向けイベントなどを地方の施設で行われています。 太鼓に関しては、活動の場所をこの施設に移すこととなりますが、道内の太鼓同好会との合同演舞を開館記念事業で考えてみてはと思います。 ほかに、のど自慢、ラジオ公開録音、歌舞伎、狂言、演劇など、北海道文化財団による共催事業等を活用して実施することを検討していきたい。 最後に自主事業については、指定管理者を来年の1月頃に決定したいと考えており、その時期に自主事業の内容を調整していく必要があります。

【意見】

発言者	内容
大西部会長	<p>以前、提案していましたが、吹奏楽のポップスコンクールをこの地でやりたいと考えています。それは、継続的に毎年やるコンクールですので、自主事業になるかなと思っています。</p> <p>最初は遠紋地区になるかもしれませんが、中学生を対象としたポップスコンクールです。各学校に楽器はあるけれども、コンクールに出るまでの規模がないという学校が増えてきており、その子たちに表現の場を与え、そして評価をしたいと思います。審査員にプロの方を招聘することとし、遠軽だけではなく、出場学校の地域でコンサートを開いたりクリニックをしたりというような、町と連携をとりながらやることのできるイベントを作りたいと思います。</p> <p>現在は芦別で行われていますが、遠隔地のためお金がかかり、出場をやめているところがたくさんあります。オホーツク管内からは前泊でなければ、なかなか行けない状況です。そういったコンクールをこちらの地域で行いたいと考えています。</p> <p>コンクールの評価の仕方はクラシックに近く、表現力よりも譜面通り演奏されているか、時間内に演奏されているかということが主体となっていて、お客様に伝わったかどうかという評価されないのが、今のコンクールです。表現力が伝わったかどうかということでジャッジするコンクールがあってもよいのではと思います。</p> <p>この近隣の学校もまわって、意見を聞いたうえで進めていきたい。</p>
高桑委員	中学校だけではなく、高校にも広げてはどうでしょうか。
大西部会長	それは協議の中で考えていきたい。規模は20人以下という小さな規模になります。10人とか5人というところもあります。
伊藤委員	新たな形で毎年やっていくということですね。
大西部会長	企業の協賛を得ながらやっていきたい。
高桑委員	芦別でやっているコンクールは旭川と札幌だけが参加しており、こちらの学校は行っていません。
大西部会長	<p>この大会の全国大会もあります。</p> <p>有力校になればなるほど、燃え尽き症候群で卒業したら音楽から全く離れていくという子がいます。吹奏楽部は体育会系に近い環境の中でやっている。</p> <p>地元出身者の小泉さんも遠軽高校で鍛えられた人であり、将来的には地元で弦楽を入れた子どもたちのオーケストラを作りたいという夢を持っているようです。そういったものがこの地域でできるとよいと思います。</p>
伊藤委員	いいですね。有名校が参考演奏ということで来てくれるとよい。
大西部会長	子ども達に関わるような事業は継続的にやっていきたい。
高桑委員	北大にジャズ研究会がありますが、毎年日高で演奏を行っていますが、遠軽に音楽ホールができたかどうかと聞いたら、私達は地方に行き音楽をやりながら、夜は子どもたちと一緒に音楽の話をし、いろんなことをやりた

	いと言っていました。合宿もやりたいということでした。
大西部会長	音楽合宿のまちを宣言してはどうか。ホールができるまでのPRとして。やはりヤマハピアノのふるさとがあるということは意義がある。
アドバイザー	映画鑑賞についても、映画が封切館で終わったとたん、全国のホールを回り始めます。さらにDVDなどが発売されるまでの半年間でやらなければ、お客さんは入りません。
大西部会長	私も、2回、自主制作映画をやったことがあります。50人くらいの試写会をただで観てもらい、観た人達が別な方を誘うという感じでした。
事務局	一点、議題とは別な話になりますが、サウンドロゴというのがあり、開館のチャイムや時報を遠軽高校の吹奏楽局に作曲してもらってはどうかと考えています。
大西部会長	私も他の館で気になっているのが、開始のときのブザー音でなにこれというのがあります。それを遠軽のまち独特のものになるというのはよいと思います。
事務局	愛着も持てると思いますし、生徒たちが作り上げたものがあったらよいのではと思います。
アドバイザー	あのブザー音が良いという人も意外と多くいます。今の劇場は、3パターンくらいは入りますので、静かな音楽や札幌では時計台の鐘が入ったりとか、選べるようになっています。 オリジナルを入れるのは良いと思います。 ボストンフィルでは、ブザーではなく、ロビーの電気がパカパカと点滅します。音が頭に残らないように光で知らせるというのがあります。
大西部会長	愛称の募集で採用者の名前もどこかにプレートで表示されるとよいと思います。
大西部会長	上湧別町の開基100周年のときに湧別高校の生徒が作詞作曲したものを全員で式典のときに歌ったことがありますが、とても感動的でした。

3 次回の日程について

説明要旨
<p>次回は、5月以降を予定しています。</p> <p>また、地域拠点施設準備室については、道の駅の関係は商工観光課に所管が移りました。町民センターに関することについては、引続き、当室で進めてまいります。</p>

4 閉会

(午後5時閉会)

第3回（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会事業部会出席者名簿

区分	氏名	団体名等	備考
委員	大西 定信	元遠軽町文化センター等を考える会委員	部会長
委員	高桑 健次	一般公募	
委員	本田 ちづ子	ダンス教室 ami:φアミ	
委員	伊藤 栄三	元遠軽町文化センター等を考える会会長	
委員	竹之内 義文	遠軽商工会議所	
アドバイザー	太田 晃正	有限会社時円プランニング代表取締役	
事務局	今井 昌幸	総務部地域拠点施設準備室参事	
計	7名		

欠席：高橋利明委員（北見地区吹奏楽連盟遠軽支部）

中南秀隆委員（遠軽町教育委員会）